

平成27年度

# 単位施策評価表

所属 22500000

保健福祉部 健康増進課

施策	4303 母子保健の充実						
区分	妥当性	妥当	コスト削減の余地	有	受益者負担	適正	
	上位貢献度	有効	類似事業の有無	無	成果向上の余地	有	
対象	市民（母性並びに乳幼児）						
施策が目指す姿	各種乳幼児健診や相談・健康教育の充実を図るなど、安心して子どもを生み育てる環境を整える。						
成果指標	3歳児健康診査受診率...平成29年度で100.0%(現状値97.4%)						
目 標 達 成 状 況			平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	成果指標 1 [ % ]	予定	96.00	97.00	98.00	99.00	100.00
		実績	97.10	95.80	97.60		
	成果指標 2 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標 3 [ ]	予定					
		実績					
	成果指標 4 [ ]	予定					
		実績					
	トータルコスト (千円)	予定	277,476	264,840	268,743		
実績		217,456	253,603	259,662			
内 部 評 価	貢献度	妊婦健診、未熟児医療給付等により、安心して出産に臨むことができる。健診、教室、相談、訪問指導の実施により発育、発達、育児に関する支援をしており貢献度が高い。					
	達成状況	対象者への個別通知、親子カレンダーや広報・ホームページでの周知の他、未受診児のいる世帯に対して電話、訪問による勧奨を行い、目標はほぼ達成できた。					
	課題	乳幼児健康診査は各地域により内容に差があり適切な時期に受けにくい状況にある。また、診察医は、小児科医と内科医師が従事している地域がありサービスに差がある。					
	取組方針	より多くの市民の利便性や事業の効率化を図るため、対象児の多い地域を会場として行う。すべての健診において、診察医師を小児科医とし、精度の高い健診を行う。					
外 部 評 価	<p>成果指標である3歳児健康診査受診率は、2年続けて未達成となっている。しかし、本施策は非常に重要であるため、今後の目標値の達成に期待している。</p> <p>そのためには、未受診者への対応が重要であると思われるが、新たなアプローチ策なども検討すべきである。</p> <p>また、将来親になるであろう中高校生を対象に、乳幼児との交流体験を企画し、命の尊さや親への感謝など、健やかな心の育成につながる施策展開も検討すべきである。</p>						
単 位 施 策 達 成 の た め の 事 務 事 業	事業コード	名 称				トータルコスト(千円)	達成度
	277104	母子保健事業費（都賀）				13,293	100
	277105	母子保健事業費（西方）				6,951	100
	277106	母子保健事業費（岩舟）				19,602	100
	277401	乳幼児発達相談事業費				4,632	100
	277501	妊婦健康診査事業費				94,901	100
	277101	母子保健事業費				64,748	99
	277102	母子保健事業費（大平）				25,791	99
	277103	母子保健事業費（藤岡）				17,250	96
	277801	未熟児養育医療給付事業費				12,494	1

平成27年度

単位 施策評価表 補表

施策	4303 母子保健の充実		
区分	妥当性	妥当	・母子保健法に基づいた事業を、対象年齢や事業内容に合わせた手段を用いて実施しており妥当である。
	コスト削減の余地	有	・乳幼児健診の対象児数に差があるため実施体制の平準化を図ることにより、コスト削減の余地はある。
	受益者負担	適正	・地方公共団体の責務として実施している事業であるため、受益者に負担を求めることは不可能である。
	上位貢献度	有効	・妊娠期からの健康を保持することは健康な児の出産に繋がり、健康な乳幼児の成長に繋がるため本施策の貢献度は有効。
	類似事業の有無	無	・子育て支援課が子育て相談事業を行っているが、当課における相談事業は、保健師が担当するため類似事業は無し。
	成果向上の余地	有	・事業への参加率の向上を図るための工夫など成果向上の余地は有る。
内部評価	貢献度	妊婦健診の費用を一人当たり9万5千円を助成し、未熟児医療給付等により経済的負担の軽減を図り安全に出産に臨むことができる。また、一次健診、一次健診後の精密検査、両親教室や離乳食教室、育児相談、家庭訪問による相談・保健指導などを実施し、育児やこどもの健やかな成長を見守り、必要に応じて支援をしており貢献度は高い。	
	達成状況	3歳児健診受診率は、H26年度は94.5%、H27年度は96.0%でありH27年度目標値(98.0%)には達していないが前年度に比べ向上している。育児支援をした人数は11,455人でありH27年度目標値(11,000人)を達成している。	
	課題	乳幼児健康診査については、1回当りの受診対象児数は6人～30人と地域によって差が大きく対象児の少ない地域では、4か月に1回の実施となるなど、適切な時期に健診が受けにくい状況にある。より多くの市民の利便性や事業の効率化を図る必要がある。	
	取組方針	乳幼児健診については、より多くの市民の利便性や事業の効率化を図る必要があるため、会場を3か所に集約する取り組みを行う。知識の普及啓発や保健事業の案内等は、広報、ホームページ、メディアを活用し積極的に周知し、利用者の増加を図る。また、母子保健推進員の活動については、妊娠届や出生届の際に担当の推進員を案内する。地区組織が連携し、地域で子どもの成長を見守ることができるような環境づくりに努める。	

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	277101	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	母子保健事業費										主	4303	健康づくりの充実		母子保健の充実	
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 母子保健第1係					担当者	塚本由紀子					従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		母子保健法		事業期間	H15 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	326,812		千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 思春期から妊娠、出産、育児に関わる母子保健事業を実施する ・妊婦、乳幼児健康診査、二次健康診査事業 ・各種健康教育、健康相談事業 ・母子保健推進員活動 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 安心して子どもを生み育てる環境づくりを実現し健やかな子育てが出来る ・健診受診率の向上及び母子保健事業参加による子育て支援の増加								
	成果目標	3歳児健康診査受診率...平成29年度で100.0%(現状値97.4%)														

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込	事業の内容		その成果							
国庫支出金	780	563	平成26年度		平成27年度							
県支出金	780	563	母子健康手帳の交付 両親(母親)教室 乳幼児健康診査、先天性股関節脱臼検診 子育てサロン、すくすく教室 だっこだっこ絵本事業 健診事後教室 新生児・産婦・乳幼児訪問指導 低体重児の届出・未熟児訪問指導 こんにちは赤ちゃん事業 性(生)教育 フッ素塗布事業 母子保健推進員活動 5歳児発達相談(統合)		【事業の内容】 母子健康手帳の交付や乳幼児健康診査、各種健康教育、相談、訪問指導など母子保健に関して、切れ目のない支援を実施する。 【成果】 母子健康手帳の交付 交付数：608件 乳幼児健康診査 受診率 4か月児：99.4% 3歳児：96.0% 訪問指導 1,953件 こんにちは赤ちゃん事業 489件 母子保健推進員活動 1,492件							
地方債	0	0										
その他特財		0										
一般財源	21,680	22,372										
事業費 a	23,240	23,498										
人件費 b	41,250	41,250										
減価償却費 c	0	0	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
総事業費 a+b+c	64,490	64,748	3歳児健康診査受診率	受診児数 ÷ 対象児数 H27目標値 98%	%	妥当	有	適正	有効	無	有	
結果指標 1	94.50	96.00	育児支援した数	乳幼児健診受診者数 + 各教室参加者数 + 健康相談者数(延数) H27目標値 11,000人	人							
結果指標 2	11,057.00	11,455.00										

事業改善計画 (改善内容とその効果を具体的に記入)  
 乳幼児健康診査事業では、受診勧奨を行い、成長発達及び育児面での必要な支援を行う。また、健診の内容や回数を見直し、会場を3か所に集約し平準化した健診体制のもと実施する。各教室、相談事業においては、保護者の育児不安や育児負担を軽減していくような取り組みを強化していく。こんにちは赤ちゃん事業を通し、育児の孤立化や虐待を予防し、保護者の精神的なサポートを行う。

事後評価備考

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	277102	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	母子保健事業費（大平）										主	4303	健康づくりの充実	母子保健の充実			
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 母子保健第2係					担当者	高橋有美子					従					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等	母子保健法								事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	128,852	千円
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 思春期から妊娠、出産、育児に関わる母子保健事業を実施する。 ・妊婦、乳幼児健康診査、二次健康診査事業 ・各種健康教育、健康相談事業 ・母子保健推進員活動 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 安心して子どもを生み育てる環境を実現し健やかな子育てが出来る。 ・健診受診率の向上及び母子保健事業参加による子育て支援の増加					
	成果目標	3歳児健康診査受診率...平成29年度で100.0%(現状値97.4%)															

単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込													
事業費・指標の推移	国庫支出金	128	126	平成26年度						平成27年度					
	県支出金	128	126	母子健康手帳の交付 両親(母親)教室 乳幼児健康診査、先天性股関節脱臼検診 子育てサロン、すくすく教室 だっこだっこ絵本事業 健診事後教室 新生児・産婦・乳幼児訪問指導 低体重児の届出・未熟児訪問指導 こんにちは赤ちゃん事業 性(生)教育 フッ素塗布事業 母子保健推進員活動 5歳児発達相談(統合)											
	地方債	0	0	【事業の内容】 母子健康手帳の交付や乳幼児健康診査、各種健康教育、相談、訪問指導など母子保健に関して、切れ目のない支援を実施する。											
	その他特財	0	0	【成果】 母子健康手帳の交付 交付数：220件 乳幼児健康診査 受診率 4か月児：98.5% 3歳児：96.8% 訪問指導 519件 こんにちは赤ちゃん事業 223件 母子保健推進員活動 589件											
	一般財源	4,692	4,389												
	事業費 a	4,948	4,641												
	人件費 b	18,750	21,150												
減価償却費 c	0	0													
総事業費 a+b+c	23,698	25,791	指標名	算出方法	単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
結果指標 1	95.90	96.80	3歳児健康診査受診率	受診児数÷対象児数 H27目標値 98%	%	妥当	有	適正	有効	無	有				
結果指標 2	4,779.00	5,770.00	育児支援した数	乳幼児健診受診者数+各教室参加者数+健康相談者数(延数) H27目標値 4,200人	人										

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 組織機構の変更に伴い、平成28年度より健康増進課にて一括して予算要求を行う。また、母子保健事業に関しては本庁で実施し、母子保健に関する諸手続き(母子健康手帳の交付等)及び相談に関する事務は大平総合支所で継続して実施する。											
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事後評価備考												
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	277103	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策			単位施策			
事業名	母子保健事業費(藤岡)										主	4303	健康づくりの充実			母子保健の充実		
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 母子保健第2係					担当者	高橋有美子					従						
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		母子保健法		事業期間	H18 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	61,771		千円				
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 思春期から妊娠、出産、育児に関わる母子保健事業を実施する ・妊婦、乳幼児健康診査、二次健康診査事業 ・各種健康教育、健康相談事業 ・母子保健推進員活動 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 安心して子どもを生み育てる環境づくりを実現し健やかな子育てが出来る ・健診受診率の向上及び母子保健事業参加による子育て支援の増加						
	成果目標	3歳児健康診査受診率...平成29年度で100.0%(現状値97.4%)																
単位：千円、人	平成26年度決算額		平成27年度決算見込															
事業費・指標の推移	国庫支出金		102	117	事業の内容 その成果	平成26年度						平成27年度						
	県支出金		102	117		母子健康手帳の交付 両親(母親)教室 乳幼児健康診査、先天性股関節脱臼検査 子育てサロン、すくすく教室 だっこだっこ絵本事業 健診事後教室 新生児・産婦・乳幼児訪問指導 低体重児の届出・未熟児訪問指導 こんにちは赤ちゃん事業 性(生)教育 フッ素塗布事業 母子保健推進員活動 5歳児発達相談(統合)						【事業の内容】 母子健康手帳の交付や乳幼児健康診査、各種健康教育、相談、訪問指導など母子保健に関して、切れ目のない支援を実施する。 【成果】 母子健康手帳の交付 交付数：61件 乳幼児健康診査 受診率 4か月児：98.7% 3歳児：94.4% 訪問指導 324件 こんにちは赤ちゃん事業 76件 母子保健推進員活動 117件						
	地方債		0	0														
	その他特財		0	0														
	一般財源		2,388	2,091														
	事業費 a		2,592	2,325														
	人件費 b		14,925	14,925														
減価償却費 c		0	0															
総事業費 a+b+c		17,517	17,250	指標名	算出方法			単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地			
結果指標 1		99.00	94.40	3歳児健康診査受診率	受診児数 ÷ 対象児数 H27目標値 98%			%		妥当	有	適正	有効	無	有			
結果指標 2		1,296.00	1,407.00	育児支援した数	乳幼児健診受診者数 + 各教室参加者数 + 健康相談者数(延数) H27目標値 1,200人			人										
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 組織機構の変更に伴い、平成28年度より健康増進課にて一括して予算要求を行う。また、母子保健事業に関しては本庁で実施し、母子保健に関する諸手続き(母子健康手帳の交付等)及び相談に関する事務は藤岡総合支所で継続して実施する。																	
事後評価備考																		

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	277104	事業区分	02	経常的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策																			
事業名	母子保健事業費（都賀）										主	4303	健康づくりの充実		母子保健の充実																		
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 母子保健第2係					担当者	高橋有美子					従																					
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		母子保健法		事業期間	H18 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	46,026		千円																				
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 思春期から妊娠・出産・育児に関わる母子保健事業を実施する。 ・妊婦、乳幼児健康診査、二次健康診査事業 ・各種健康教育、健康相談事業 ・母子保健推進員活動 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 安心して子どもを生み育てる環境づくりを実現し、健やかな子育てができる。 健診受診率の向上及び母子保健事業参加による子育て支援の増加。																									
	成果目標	3歳児健康診査受診率...平成29年度で100.0%(現状値97.4%)																															
単位：千円、人	平成26年度決算額	平成27年度決算見込		事業の内容 その成果 母子健康手帳の交付 両親（母親教室） 乳幼児健康診査、先天性股関節脱臼検診 子育てサロン、すくすく教室 だっこだっこ絵本事業 健診事後教室 新生児・産婦・乳幼児訪問指導 こんにちは赤ちゃん事業 性（生）教育 フッ素塗布事業 母子保健推進員活動 低体重児の届出・未熟児訪問指導						平成26年度						平成27年度																	
事業費・指標の推移	国庫支出金	121	121							県支出金	121	121	地方債	0	0	その他特財	26	0	一般財源	1,927	1,801	事業費 a	2,195	2,043	人件費 b	11,250	11,250	減価償却費 c	0	0	総事業費 a+b+c	13,445	13,293
				指標名	算出方法			単位	事業の事後評価 妥当性 コスト削減の余地 受益者負担 上位貢献度 類似事業の有無 成果向上の余地 妥当 有 適正 有効 無 有																								
				3歳児健康診査受診率	受診児数 ÷ 対象児数 H27目標値 98%			%																									
				育児支援した数	乳幼児健診受診者数 + 各教室参加者数 + 健康相談者数(延数) H27目標値 1,300人			人																									
事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 組織機構の変更に伴い、平成28年度より健康増進課にて一括して予算要求を行う。また、母子保健事業事務に関しては本庁で実施し、母子保健に関する諸手続き(母子健康手帳の交付等)及び相談は都賀総合支所で継続して実施する。																																
事後評価備考																																	

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	277105	事業区分	02	経常的事業	新規/その他	2	その他	基本施策		単位施策		
事業名	母子保健事業費（西方）										主	4303	健康づくりの充実		母子保健の充実	
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 母子保健第2係					担当者	高橋有美子					従				
事業の性質	2	自治事務	根拠法令等		母子保健法		事業期間	H18 ~ H29 年度			全体事業費 (人件費除)	18,410		千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どういう方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 思春期から妊娠、出産、育児に関わる母子保健事業を実施する。 ・妊婦、乳幼児健康診査、二次健康診査事業 ・各種健康教育、健康相談事業 ・母子保健推進員活動 【主要事業】						達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 安心して子どもを産み育てる環境を実現し健やかな子育てが出来る。 ・健診受診率の向上及び母子保健事業参加による子育て支援の増加								
							成果目標	3歳児健康診査受診率...平成29年度で100.0%(現状値97.4%)								

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込				
事業費・指標の推移	国庫支出金	15	15	事業の内容 その成果 母子健康手帳の交付 両親(母親)教室 乳幼児健康診査、先天性股関節脱臼検査 子育てサロン、すくすく教室 だっこだっこ絵本事業 健診事後教室 新生児・産婦・乳幼児訪問指導 こんにちは赤ちゃん事業 性(生)教育 フッ素塗布事業 母子保健推進員活動 低出生体重児の届出・未熟児訪問指導			
	県支出金	15	15				
	地方債	0	0				
	その他特財	0	0				
	一般財源	1,165	1,221				
	事業費 a	1,195	1,251				
	人件費 b	975	5,700				
減価償却費 c	0	0					
総事業費 a+b+c	2,170	6,951					
結果指標 1	100.00	100.00	3歳児健康診査受診率	受診児数÷対象児数 H27目標値 98%	%		
結果指標 2	800.00	942.00	育児支援した数	乳幼児健診受診者数+各教室参加数+健康相談者数(延数) H27目標値 510人	人		
		指標名	算出方法	単位	事業の事後評価		
		妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地
		妥当	有	適正	有効	無	有

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 組織機構の変更に伴い、平成28年度より健康増進課にて一括して予算要求を行う。また、母子保健事業事務に関しては本庁で実施し、母子保健に関する諸手続き(母子健康手帳の交付等)及び相談は西方総合支所で継続して実施する。
--------	--

事後評価備考	
--------	--

# 事

様式 1

## 栃木市事務事業評価表

平成 27 年度

会計	一般	款項目	040101	予算事業コード	277106	事業区分	02	経常的事業	新規 / その他	2	その他	基本施策		単位施策			
事業名	母子保健事業費 (岩舟)										主	4303	健康づくりの充実		母子保健の充実		
担当部課 係・担当チーム名	保健福祉部 健康増進課 母子保健第2係					担当者	高橋有美子					従					
事業の性質	2	自治事務		根拠法令等		母子保健法					事業期間	H26 ~ H29 年度		全体事業費 (人件費除)	13,722 千円		
事業の概要	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)までに、誰(何)を、どのような方法で、どうしたいのか。対象、手段の記入) 思春期から妊娠、出産、育児に関わる母子保健事業を実施する ・妊娠、乳幼児健康診査、二次健康診査事業 ・各種健康教育、健康相談事業 ・母子保健推進活動 【主要事業】										達成目標	(事業完了(事業期間のない事業は平成32年度)の目標) 安心して子供を産み育てる環境づくりを実現し健やかな子育てができる ・健診受診率の向上及び母子保健事業参加による子育て支援の増加					
	成果目標	3歳児健康診査受診率...平成29年度で100.0%(現状値97.4%)															

単位：千円、人		平成26年度決算額	平成27年度決算見込																
事業費・指標の推移	国庫支出金		118	事業の内容 その成果	平成26年度						平成27年度								
	県支出金	111	118		母子健康手帳の交付 両親教室 乳幼児健康診査、先天性股関節脱臼検査 子育てサロン、すくすく教室 だっこだっこ絵本事業 健診事後教室 新生児・産婦・乳幼児訪問 低体重児の届出・未熟児訪問指導 こんにちわ赤ちゃん事業 性(生)教育 フッ素塗布事業 母子保健推進員活動 5歳児発達相談 母子保健指導車管理						【事業の内容】 母子健康手帳の交付や乳幼児健康診査、各種健康教育、相談、訪問指導など母子保健に関して、切れ目のない支援を実施する。 【成果】 母子健康手帳の交付 交付数：111件 乳幼児健康診査 受診率 4か月児：98.8% 3歳児：98.5% 訪問指導 328件 こんにちは赤ちゃん事業 92件 母子保健推進員活動 306件								
	地方債		0																
	その他特財		0																
	一般財源	3,246	2,491																
	事業費 a	3,357	2,727																
	人件費 b	16,875	16,875																
減価償却費 c		0																	
総事業費 a+b+c	20,232	19,602	指標名		算出方法		単位	事業の事後評価	妥当性	コスト削減の余地	受益者負担	上位貢献度	類似事業の有無	成果向上の余地					
結果指標 1	98.00	98.50	3歳児健康診査受診率	受診児数 ÷ 対象児数 H27目標値 98%		%	妥当								無	適正	有効	無	有
結果指標 2	1,298.00	2,576.00	育児支援した数	乳幼児健診受診者数 + 各教室参加者数 + 健康相談者数(延べ数) H27目標値 1,300人		人													

事業改善計画	(改善内容とその効果を具体的に記入) 組織機構の変更に伴い、平成28年度より健康増進課にて一括して予算要求を行う。また、母子保健事業事務に関しては本庁で実施し、母子保健に関する諸手続き(母子健康手帳の交付等)及び相談は岩舟総合支所で継続して実施する。														

事後評価備考															
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--